

TK550GSB

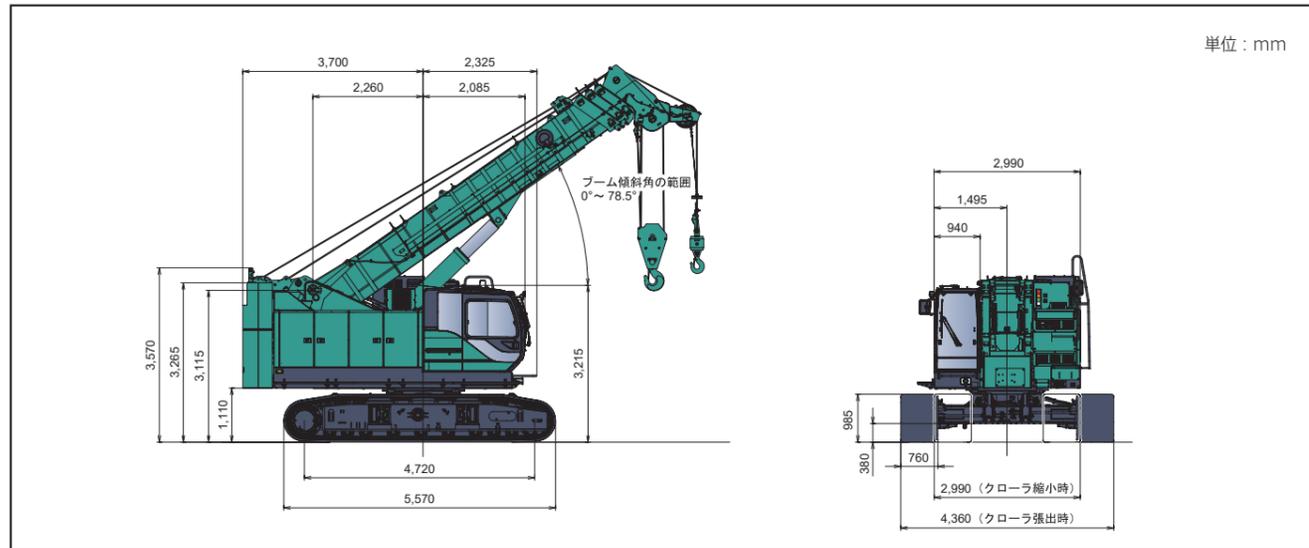
テレスコピックローラークレーン

■主要諸元

項目	仕様	TK550GSB	
最大定格総荷重	7.7mブーム	t×m	55.0×3.0(10本掛)
	12.1mブーム	t×m	28.0×5.0(5本掛)
	16.5mブーム	t×m	22.0×6.0(4本掛)
	20.9mブーム	t×m	14.0×6.5(4本掛)
	補助シーブ(最大)	t	6.0(1本掛)
ブーム長さ	m	7.7~20.9	
主フック最大地上揚程	m	20.7	
主フック最大作業半径	m	18.6	
巻上ロープ速度	主巻	m/min	110(1層目)
	補巻	m/min	110(1層目)
	サード	m/min	110(1層目)
ブーム伸長速度	sec/m	79/13.2	
ブーム上げ速度	sec/度	62/0~78.5	
旋回速度	min ⁻¹ {rpm}	2.3{2.3}	
走行速度	km/h	2.1/1.4(高低速切替式)	
作業時質量(標準仕様+55tフック+ボールフック)	t	53.4	
平均接地圧(標準仕様+55tフック+ボールフック)	kPa{kgf/cm ² }	72.9{0.74}	
登坂能力	%(度)	30(16.7)	
エンジン	名称	Daimler OM936LA(MTU 6R1000)ディーゼルエンジン	
	定格出力	kW/min ⁻¹ {PS/rpm}	207/2,000{281/2,000}
ワイヤロープ	主巻	mm×m	φ20×120
	補巻	mm×m	φ20×60
	サード	mm×m	φ18×120

登坂能力は最大登坂時の傾斜角度であり、地盤の状態やクレーンによってはこの数値より低くなります。各速度は軽負荷の時の値であり、負荷により速度の変動があります。各ロープ速度はドラム1層目での値です。単位は国際単位系のSI単位で{ }内は従来表示です。

■全体図



- つり上げ荷重5t以上の移動式クレーン運転には「移動式クレーン運転士免許証」、クランセル作業には「車両系建設機械(整地ほか)運転技能講習修了証」、基礎工事には「車両系建設機械(基礎用)運転技能講習修了証」がそれぞれ必要です。
- 本カタログで使用される標章「KOBELCO」は、株式会社神戸製鋼所の登録商標です。また、その他、当社商品名、サービス名およびロゴマークは、コベルコ建機株式会社の商標または登録商標です。その他の会社名やロゴマーク、商品名、サービス名は、各社の商標、登録商標もしくは商号です。
- 掲載写真・記載内容にはオプション品が含まれています。

コベルコ建機株式会社

www.kobelco-kenki.co.jp

東京本社 / 〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 Tel:03-5789-2111

■クレーンの販売・サービス拠点

北海道 Tel:011-788-2386 / 宮城 Tel:0223-24-1482

横浜 Tel:045-834-9992 / 北陸 Tel:076-274-1218

東海 Tel:052-603-1205 / 近畿 Tel:06-6414-2103

中国 Tel:082-810-3880 / 九州 Tel:092-410-3035

■お問い合わせは…

KOBELCO

テレスコピックローラークレーン

TK550GSB

ショートブーム仕様

最大定格総荷重

55t
×
3.0m

ブーム長さ:7.7m~20.9m

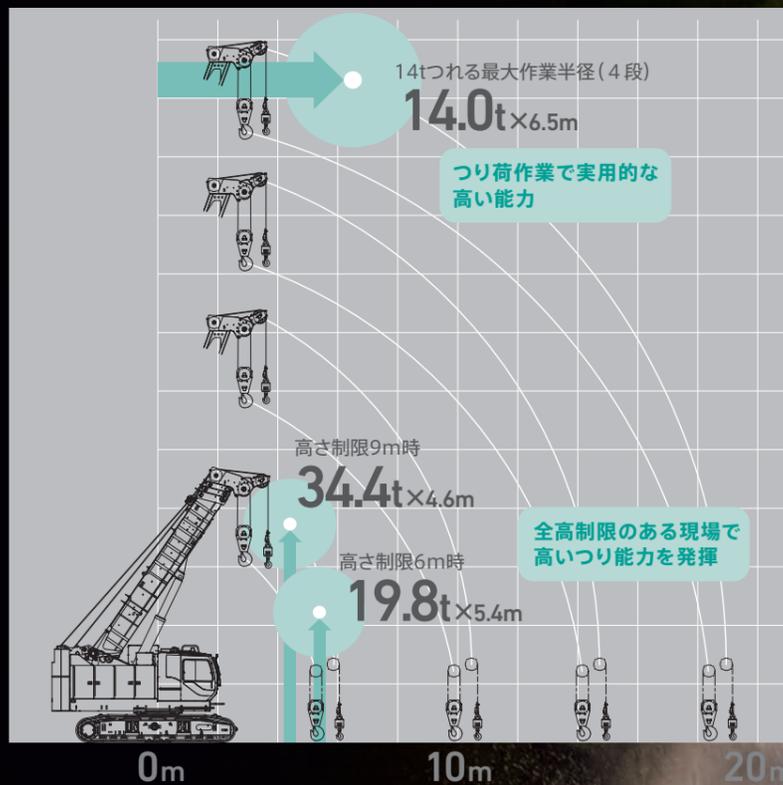
TELESCOPIC CRAWLER CRANE

SHORT BOOM PERFORMANCE

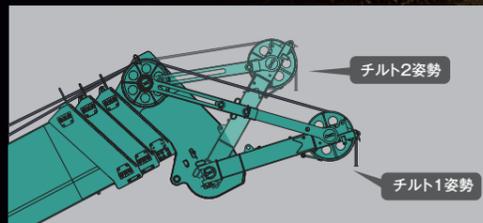
RISE to ACTION

高い基本能力をそのままに 狭所での機動力に優れたショートブーム

■最大定格総荷重 **55t×3.0m** ■主巻/補巻 一本掛能力 **58.8kN {6.0tf}** ■主巻/補巻 巻上ロープ速度 (3.85t巻上時) **約20%up (TK550G 比)** ■最大地上揚程 **20.7m**



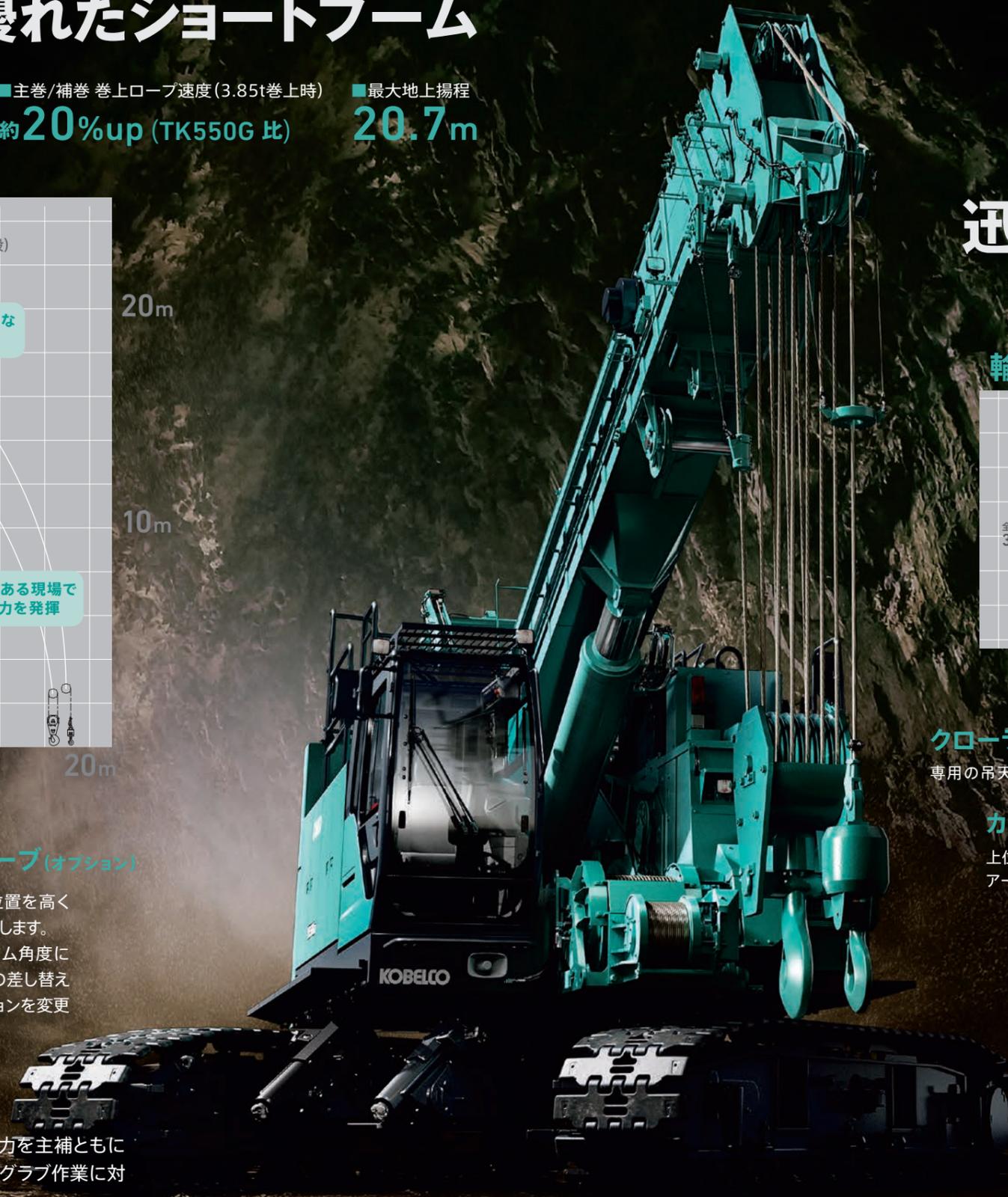
全高制限のある現場に対応した 2ポジション切替可能なチルト2枚補助シーブ (オプション)



補助シーブ位置を高くし、揚程を高くします。作業するブーム角度に応じて、ピンの差し替えによりポジションを変更してください。

ハンマーグラブ作業に対応

ワイヤロープ径をφ20mmに強化することで、1本つり能力を主補ともに6tまで向上させました。また、ブームの補強を図り、ハンマーグラブ作業に対応します。推奨のバケット質量は3.85t (土砂込) までです。



迅速な作業を可能にする 輸送性・組立性

輸送全長9.85m / 輸送幅2.99mを実現



※写真は装着可能なオプションを含みます。寸法および質量は輸送時の最小値です。

クローラ自力脱着装置 (オプション)

専用の吊天秤を使用して、クローラの自力脱着ができ、作業半径は最大で4.5mまで可能です。

カウンタウエイト自力脱着装置 (オプション)

上位機種 (TK750G/TK750GFS)・TK550Gと操作方式を統一。ウインチ操作と自力脱着アームの起伏操作で、カウンタウエイトを脱着できます。

カウンタウエイト取付用ボルトの格納ブラケットを設定

取付用ボルトを、カウンタウエイトのブラケットに格納した状態で保管し輸送可能。玉掛け作業の邪魔にならず、紛失の恐れもなくなります。

部品置場の設定

ロウフレームに走行油圧配管、クローラフレームにステップなどの部品置場を設置したことで、輸送時や組立・分解時の利便性を向上させました。

跳ね上げ式トランスリフタの採用

従来機の脱着式から跳ね上げ式に変更したため、輸送時・作業時の取外しは不要になりました。